

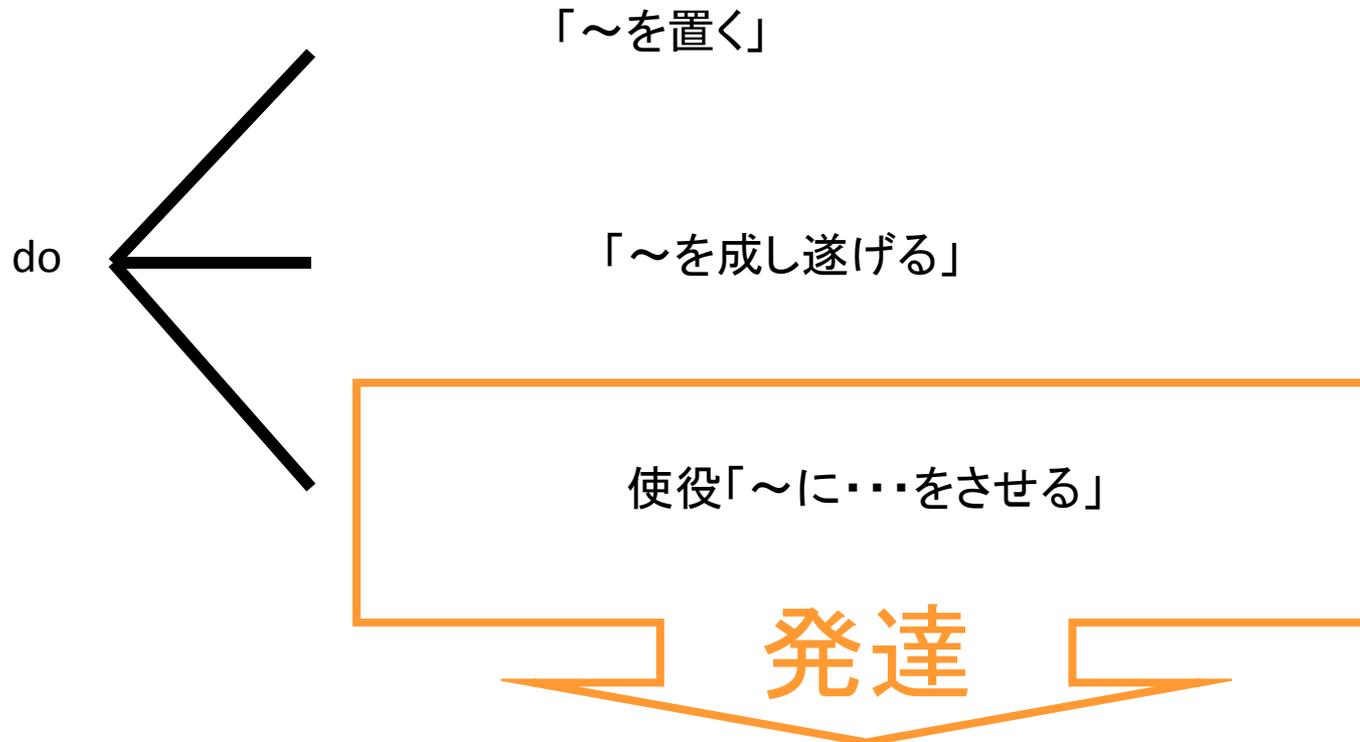
# 第13回

## 統語法

～代表的な統語法の歴史～

### V 助動詞doの発達

# 古英語でのdoの意味は？



# 使役のdo

古英語

He did man break the house.  
主語 動詞 目的語 不定詞 人に家を壊させた

中英語

He did (目的語省略) break the house.  
家を壊させた

目的語が不特定の人の場合、省略が繰り返されている間に、主語と不定詞の結びつきが強まった

すると...

# 中英語

He did (目的語省略) break the house.

13世紀

家を壊させた

使役機能を失い、  
助動詞化が進む

breakの主語がHeであると解釈されるようになった

He did break the house.

He  
主語

break  
動詞

家を壊した

# 近代英語

18世紀 助動詞 do が一般的に使われるように



# 同じ構造なのに・・・

古英語 He did man break the house.

古英語の解釈

break(不定詞)の主語は  
man(目的語)



中英語 He did (目的語省略) break the house.

中英語の解釈

break(不定詞)の主語は  
He(文の主語)



同じ構造に異なる分析・解釈を与えている

これを

再分析

と言う

# 確認問題



助動詞doにおいてはどのような再分析が行われているでしょう

# 確認問題



不定詞を伴う使役動詞から、目的語が省略されることによりその機能が薄れ、助動詞と解釈されるようになった。